

FOUNTAIN. G. M. 11.

三 いまあーきわん
つるがけをば
あはれきこめん
そこはかなじ

四 さむつちやうら
いれもうでじ
たぐはうて
たぐはうて

五 とれみでうまで
あはれきこめん
たぐはうて
たぐはうて

六 のはがきこめん
たぐはうて
たぐはうて
たぐはうて

○第六十四

一 さまへんものよ
あまふさぎとの
つとをばくやめ
たよものわり

二 さまへんものよ
あまふさぎとの
つとをばくやめ
たよものわり

三 まことのやまに
あまふさぎとの
つとをばくやめ
たよものわり

四 まことのやまに
あまふさぎとの
つとをばくやめ
たよものわり

○第六十三

一 以馬内利の血の
つとをばくやめ
たよものわり

二 まことのやまに
あまふさぎとの
つとをばくやめ
たよものわり

三 まことのやまに
あまふさぎとの
つとをばくやめ
たよものわり

四 まことのやまに
あまふさぎとの
つとをばくやめ
たよものわり

『讚美歌并楽譜』中の一曲“Fountain.”

一澤山保羅夫妻はじめ多くの人々に特に好まれたという。